



Business Report 2021

第68期 第2四半期報告書 2021年4月1日～2021年9月30日

創造と革新

株式会社 **グローセル**

東証第一部 証券コード：9995

Creation & Innovation

▶ごあいさつ

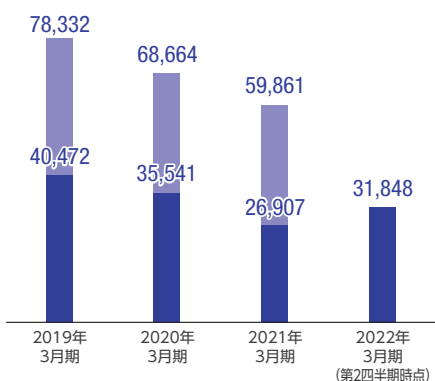
株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。本報告書では、当社第68期第2四半期(2021年4月1日～2021年9月30日)の経営状況をお伝えするとともに、通期の見通しおよび事業戦略についてご説明させていただきます。ご一読のほどよろしくお願い申し上げます。

取締役社長 石井 仁

▶連結財務ハイライト

■売上高(百万円)

■第2四半期 ■通期



■重点分野への取り組み



■自動車分野

先進運転支援システム(ADAS)・自動運転は、今後も伸長が見込まれる分野であり、高機能、高信頼性のルネサスエレクトロニクス製品をコアに、次世代自動車に必要な技術をハード、ソフトの両面よりサポートをすることで、交通事故ゼロ社会の実現に向けて取り組んでまいります。



■産業分野

スマートファクトリー^{*1}の実現に向けて、当社が取り扱っている半導体・電子部品等のデバイス、技術サポート・ソフトウェア開発サポートと高度な独自技術をもつパートナー企業と一体となったワンストップ・ソリューションを提案し、お客様とともにスマート化、生産性の向上を目指してまいります。



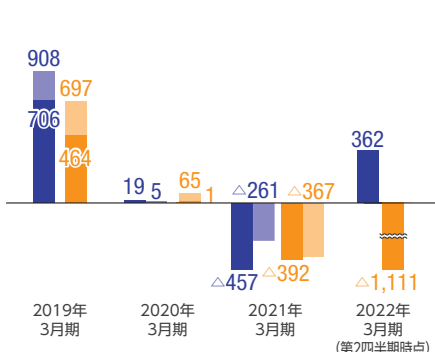
■通信分野

様々なモノがインターネットにつながるIoT^{*2}技術は、「超スマート社会」の実現に必要な不可欠であり、半導体や電子部品、センサーを中心に当社ならではの技術サポート、ソフトウェア開発サポートなどを付加し、最先端の製品や技術を提供することでお客様の「モノづくり」を支えております。

■経常利益

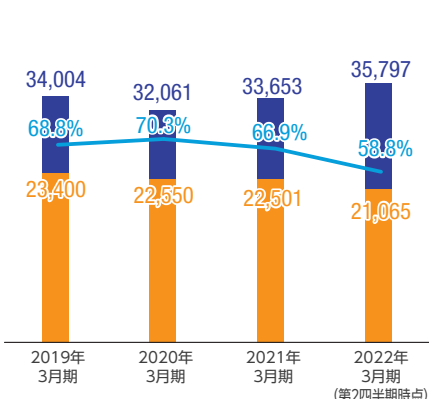
■親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)

■第2四半期 ■通期

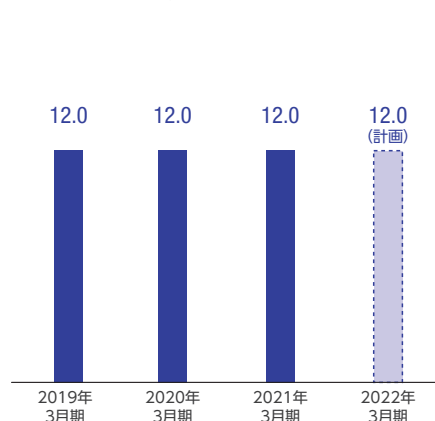


■総資産 ■純資産(百万円)

●自己資本比率(%)



■配当金の推移(単位：円)



*1 スマートファクトリー (Smart Factory) …工場内のあらゆる機器をインターネットに接続し、品質・状態などの情報を見るを化し、設備と人が協調して動作するもの。

*2 IoT…Internet of Thingsの略で様々なものがインターネット/クラウドに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

優れた製品と技術の提供により サステナブルな社会の実現に貢献します。



取締役社長
石井 仁

Q 上期の営業状況についてお聞かせください。

当第2四半期の世界経済は、ワクチン接種が順調に進む日米欧では新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）の影響がやや落ち着きつつありましたが、東南アジアなどではデルタ株による感染拡大が深刻化し、サプライチェーンに大きな影響をもたらす状況となりました。半導体市場では、経済活動の回復に伴い広範囲で需要拡大が継続し、2021年8月の世界半導体売上高は19ヵ月連続で前年同月実績を上回る一方、旺盛な需要に供給が追いつかず、様々な分野において生産活動に大きな影響が出ております。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4,940百万円増（18.4%増）の31,848百万円、営業利益は310百万円（前年同期は営業損失504百万円）、経常利益は362百万円（前年同期は経常損失457百万円）となりました。経営基盤強化施策推進に伴う構造改革費用1,156百万円を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,111百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失392百万円）となりました。品目別売上高では、集積回路は自動車分野を中心に需要が堅調に推移し、前年同期比

2,094百万円増（11.9%増）の19,737百万円、半導体素子はパワーデバイスを中心に需要増となり、同611百万円増（13.2%増）の5,256百万円、表示デバイスは産業分野等での好調により、同275百万円増（43.7%増）の906百万円、その他は高感度ひずみセンサー「**STREAL**」が大幅に増加し、同1,958百万円増（49.1%増）の5,948百万円となりました。

Q 通期の業績見通しと、今後の成長戦略についてお聞かせください。

今後の事業環境については、新型コロナのデルタ株による感染再拡大の懸念や、東南アジアでの部品供給網の混乱による影響など、依然として先行き不透明な状況が続く見込みです。こうした状況を受け、2020年3月期から取り組んでまいりました中期経営計画「**SSG 2021**」につきましては、最終年度となり、その内容を見直すこととさせていただきます。当計画では、新規案件獲得、デザイン-イン活動のさらなる拡大、ソリューション提案力の強化などの取り組みにおいては、一定の成果を収めることができました。withコロナ、アフターコロナを見据えた新たな経営計画として次年度以降の中期経営計画につなげてまいりたいと考えております。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

事業への取り組み 持続的に成長できる企業となるための強固な経営基盤

コア事業であるルネサスエレクトロニクス製品への取り組みとしては、自動車分野へ「Winning Combination^{※1}」「Cross Sell^{※2}」への徹底を推進するとともに、自社ブランド製品である半導体ひずみセンサー「**STREAL**」は、モジュール事業、コンポーネント・周辺機器事業、ソリューション事業と徐々にビジネス領域を拡大し、新規市場の開拓を強力に推進してまいります。

ルネサスエレクトロニクス製品 Winning Combination/Cross Sell		STREAL ビジネスロードマップ		
<p>Automotive</p> <p>バッテリー</p> <p>セキュリティ</p> <p>自動運転</p>	<p>■ ルネサス ■ 他社品 ■ 旧インテグ・旧IDT・旧Dialog</p> <p>電源制御IC 発振器 バッテリー監視</p> <p>MCU</p> <p>充電IC クイックパワー</p> <p>画像伝送IC ビデオシグナルIC</p> <p>センサー フォトカブラ</p> <p>センサーI/F Flash SRAM ゲートドライバ</p> <p>オペアンプ 通信/RF Custom パワーデバイス</p>	<p>2019～</p> <p>STEP1 モジュール事業</p> <p>✓ センサーモジュール ✓ 次世代IC版モジュール</p>	<p>2021～</p> <p>STEP2 コンポーネント・周辺機器事業</p> <p>✓ トルクセンサー ✓ 2.4GHz帯 無線搭載 小型データ処理基板</p>	<p>2022～</p> <p>STEP3 ソリューション事業</p> <p>エッジ処理・無線通信 GateWay クラウド 無線 データ蓄積・分析・活用</p> <p>✓ インフラ用 920MHz帯 無線通信モジュール ✓ クラウドサービス ✓ LUMADAとのコラボレーション</p>
<p>ターゲットアプリケーション</p> <p>STREALにより「性能向上」「新機能搭載」 代表例 「トルク」計測 「切削力」計測</p> <p>あらゆる場所にSTREALを設置し、「新たな価値」を創造 代表例 「安全性向上」「高度制御」「状態監視」「CBMの実現」</p> <p>STREALソリューションで「社会課題」を解決 ・生産現場の「生産性向上」ソリューション ・インフラ、設備、機械の「遠隔監視」ソリューション ・熟練工の「技術継承」ソリューション ・「労働環境改善」ソリューション</p>				

※1 Winning Combinationとはルネサス製MCUと旧インテグ・旧IDT・旧Dialog製品のキット販売 ※2 Cross Sellとはルネサス製品と特約店独自素材とのキット販売

SSG 2021

半導体 (Semiconductor) ・センサー (Sensor) でグローバル (Global) に成長 (Growth) することで「更に強い」・「競争優位に立つ」持続的成長可能な企業を目指す。

中期経営計画「SSG 2021」の最終年度

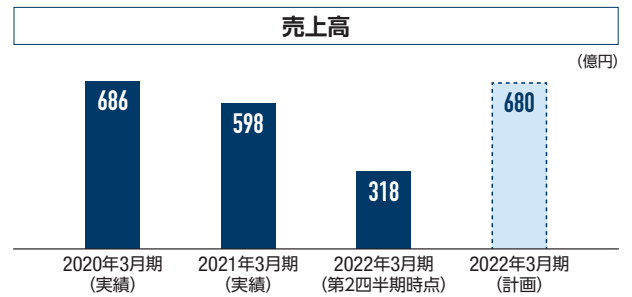
- 半導体商社としての顧客第一主義を徹底推進
安定供給、秀でた営業力、優れた技術力
- ソリューション提案強化による業容拡大と事業領域拡大
- 事業活動を通じ脱炭素社会を実現する製品・技術を社会に提供しSDGs達成に貢献

2022年3月期の通期業績については、売上高68,000百万円(前期比13.6%増)、営業利益660百万円(前期は営業損失493百万円)、経常利益710百万円(前期は経常損失261百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失870百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失367百万円)を予想しております。

Q SDGsに関する取り組みについてご紹介ください。

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) の達成に向けて真摯に取り組むことは、上場企業としての責務です。当社グループは「創造と革新」を事業活動で具現化し、グローバルならではの価値を社会に提供することで、SDGsの達成に貢献したいと考えております。

具体的な取り組みとして、先進運転システムの開発サポートや自社開発の高感度ひずみセンサー「STREAL」など、優れた製品や技術の創出によって新たな価値の提供を推進してまいります。また、グリーン調達や植樹活動などの環境保全活動にも積極的に取り組んでいるほか、株主様・従業員・地域社会など多様なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けることを目指します。



SDGsに取り組むことは、企業価値の向上にもつながります。社会課題の解決に向けた取り組みは新たな事業や革新的なイノベーションを創出することで、新しい事業機会を獲得してまいります。また、社であります「創造と革新」を追求し、事業の持続的成長の実現に結びつくと考えております。こうした取り組みを通じて企業価値を高め、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えしてまいります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題と位置づけております。当期の期末配当につきましては、安定配当の維持という基本方針に則り、前期と同額の普通配当12円とさせていただきます。ご予定でございます。

東京証券取引所が2022年4月に実施する市場区分の見直しにつきましては、当社はプライム市場を選択し高度なガバナンスを実現し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、これからも当社事業へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SDGsへの取り組み 事業を通じた社会課題解決と貢献

当社は、「創造と革新」の経営理念に基づいて企業価値の向上を図るとともに、半導体専門商社として技術力を発揮し、「脱炭素社会」を実現する優れた製品や技術を社会へ提供してまいります。



会社概況

商号 株式会社グローセル
 英文商号 Glosel Co.,Ltd.
 本社所在地 〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目1番地
 従業員数 478名
 創立 1954年12月23日 (商号変更: 2019年7月1日)
 資本金 50億4,267万円
 事業内容 集積回路・半導体素子・表示デバイス及びその他の電子部品・機器等の販売、ソフトウェア開発及び電子機器の開発・設計

役員

代表取締役社長	石井 仁	取締役(社外)	刈田 祥史
取締役副社長	上野 武史	取締役(社外)	松村 敦子
専務取締役	岡部 昭彦	取締役(社外)	濱野 京
取締役	高橋 強	常勤監査役	高木 身記成
取締役	川田 裕久	常勤監査役(社外)	菟田 当昭
取締役	奈良 弘行	監査役(社外)	土井 豊
		監査役(社外)	大高 俊幸

執行役員

上席執行役員 人事・総務本部長	土屋 義隆
上席執行役員 システムソリューション本部長	斉木 武志
執行役員 財務本部長	中村 俊昭
執行役員 経営企画部長	竹井 達也

株式の状況

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式総数 26,053,455株 (自己株式373,345株を除く)
 株主数 35,111名

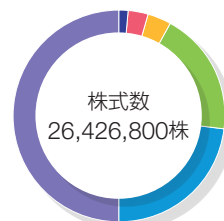
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,125,300	8.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口・76353口)	984,340	3.77
双葉電子工業株式会社	954,000	3.66
有限会社エターナル	952,340	3.65
新電元工業株式会社	748,400	2.87
サクサ株式会社	748,000	2.87
ニチコン株式会社	727,000	2.79
横山 淳子	724,000	2.77
グローセル従業員持株会	710,431	2.72
福島 慎介	660,578	2.53

※ 当社は、自己株式を373,345株所有しております。また、持株比率につきましては、自己株式を控除して算出しております。

所有者別分布状況

- 自己名義株式 373,345株 1.41%
- 金融商品取引業者 815,991株 3.09%
- 外国法人等 941,801株 3.56%
- 金融機関 5,001,440株 18.93%
- その他法人 6,100,646株 23.09%
- 個人・その他 13,193,577株 49.92%



株主優待のご案内

株主様の日頃のご支援にお応えするとともに、また、中長期的に当社株式を保有していただける安定した株主様の増加を図ること、そして、より多くの皆様に当社事業へのご理解とご支援をいただくことを目的に、株主優待制度を実施しております。



株主優待制度の内容

対象	優待内容
1単元(100株)以上 10単元(1,000株)未満の株主様	1,000円分相当のクオカード
10単元(1,000株)以上の株主様 保有期間が3年未満	2,000円分相当のクオカード
10単元(1,000株)以上の株主様 保有期間が3年以上*	3,000円分相当のクオカード

贈呈時期 毎年3月31日を基準日として年1回実施。クオカードは6月下旬の定時株主総会後の決議通知に同封し発送

※10単元(1,000株)以上を3年以上継続して同一株主番号で記載または記録された株主様といたします。

株主メモ

決算期 毎年 3月31日 (年1回)
 定時株主総会 毎年 6月
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
 同連絡先 東京証券取引所 (市場第一部)
 日本経済新聞
 上場証券取引所 公告の方法

株式に関するお手続きについて

●特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定*	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人

※特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

※上記以外のお手続き、ご照会等は口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

「CSR報告書2021」を発行

「CSR報告書2021」を発行いたしました。社会とのコミュニケーションを大切にし、技術商社としての事業活動を通じて、継続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<https://www.glosel.co.jp/csr.html>

